

No.	区分	所属	評価コメント、改善・向上に向けた提言
1	学科	国文学科	<ul style="list-style-type: none"> 課題に挙げられた、受験生にアピールできるような教育改善について、必要に応じて在学生・卒業生への独自アンケート、高校との意見交換、高校訪問・オープンキャンパス等でのヒアリング等の実施により、令和 7 年度以降の具体的な改善案として、令和 5 年度中を目途に策定し、入試広報課と共有してください。 成績評価のばらつきについては、学科会議や FD 等で検証に取り組み、令和 6 年度中に評価方針をまとめてください。 入学時点で学力が不足している学生への指導については、挙げられた研修会とともに、学科としてのサポート体制の構築、カリキュラムの見直し等も併せて令和 6 年度中に対応をお願いします。
2		英文学科	<ul style="list-style-type: none"> 令和 7 年度からのカリキュラム変更に向けて、必要に応じて在学生・卒業生への独自アンケート、高校との意見交換、高校訪問・オープンキャンパス等でのヒアリング等の実施により、令和 5 年度中を目途に具体案を策定してください。 留学支援・制度の見直しやネイティブ教員の人数増等をふまえ、英語能力試験のスコア上昇や留学生数の増加に繋がるプログラムを開発し、新たなプログラムの広報展開等も併せてご検討ください。
3		史学科	<ul style="list-style-type: none"> カリキュラムの見直しにあたっては、必要に応じて在学生・卒業生への独自アンケート、高校との意見交換、高校訪問・オープンキャンパス等でのヒアリング等の実施も交えながら、新しい学習指導要領との接続、科目数の精選等もふまえて、令和 5 年度中を目途に具体案を策定してください。
4		教育学専攻	<ul style="list-style-type: none"> ポリシーの見直し、アンケート項目の見直し等については、現在、教学マネジメントにおいて進行中の検討結果を踏まえて、あらためて次年度以降の点検・評価で検証してください。 教員組織（新教育学科）については、大学設置基準の改正に伴う実務家教員の確保や全学教職課程のあり方を含め、ポイント制による教員枠や特任教授制度を活用した長期計画を策定してください。
5		養護・福祉教育学専攻	<ul style="list-style-type: none"> 令和 6 年度からの新学部体制において、挙げられた課題等の改善・向上活動を推進し、次年度以降の点検・評価で検証してください。
6		音楽教育学専攻	<ul style="list-style-type: none"> 課題に挙げられた受験生への訴求について、音楽の素養が様々な場面で活躍できるように、必要に応じて在学生・卒業生への独自アンケート、高校との意見交換、高校訪問・オープンキャンパス等でのヒアリング等の実施等も交えながら、新教育学科における令和 7 年度以降の具体的な改善案として、令和 5 年度中に策定し、入試広報課と共有してください。 成績評価のばらつきについては、学科会議や FD 等で検証に取り組み、令和 6 年度中に評価方針をまとめてください。
7		児童学科	<ul style="list-style-type: none"> 課題に挙げられた受験生への訴求について、必要に応じて在学生・卒業生への独自アンケート、高校との意見交換、高校訪問・オープンキャンパス等でのヒアリング等の実施等も交えながら、新教育学科における令和 7 年度以降の具体

		<p>的な改善案として、令和 5 年度中に策定し、入試広報課と共有してください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 成績評価のばらつきについては、学科会議や FD 等で検証に取り組み、令和 6 年度中に評価方針をまとめてください。 	
8	心理学科	<ul style="list-style-type: none"> 令和 6 年度からの新学部体制において、挙げられた課題等の改善・向上活動を推進し、次年度以降の点検・評価で検証してください。 	
9	食物栄養学科	<ul style="list-style-type: none"> 課題に挙げられた、受験生への訴求について、必要に応じて在学生・卒業生への独自アンケート、高校との意見交換、高校訪問・オープンキャンパス等でのヒアリング等の実施により、令和 7 年度以降の具体的な改善案として、令和 5 年度中に策定し、入試広報課と共有してください。 	
10	生活造形学科	<ul style="list-style-type: none"> 課題に挙げられた、受験生への訴求について、必要に応じて在学生・卒業生への独自アンケート、高校との意見交換、高校訪問・オープンキャンパス等でのヒアリング等の実施により、令和 7 年度以降の具体的な改善案として、令和 5 年度中に策定し、入試広報課と共有してください。 入学時点で学力が十分でない学生への指導については、FD 等で取り組むとともに、学科としてのサポート体制の構築、カリキュラムの見直し等も併せて令和 6 年度中に対応をお願いします。 	
11	現代社会学科	<ul style="list-style-type: none"> 課題に挙げられた、受験生への訴求について、必要に応じて在学生・卒業生への独自アンケート、高校との意見交換、高校訪問・オープンキャンパス等でのヒアリング等の実施により、令和 7 年度以降の具体的な改善案として、令和 5 年度中に策定し、入試広報課と共有してください。 令和 5 年度からの新カリキュラムについては、引き続き検証と改善・向上活動を推進してください。 	
12	法学科	<ul style="list-style-type: none"> 課題に挙げられた、受験生への訴求について、必要に応じて在学生・卒業生への独自アンケート、高校との意見交換、高校訪問・オープンキャンパス等でのヒアリング等の実施により、令和 7 年度以降の具体的な改善案として、令和 5 年度中に策定し、入試広報課と共有してください。 	
13	データサイエンス学科	<ul style="list-style-type: none"> 受験生に向けた広報活動、入学前学習のコンテンツ作成、FD 活動等の諸取り組みについて、在学生の積極的な参画を求め、受験生や在学生のニーズとのチューニングをお願いします。 	
14	大学院専攻	<ul style="list-style-type: none"> 【全専攻に共通】志願者募集、教育課程等については、全学的な改組と併せて検討を進める。 <p>以下、共通</p>	
15			院・国文学専攻
16			院・英文学専攻
17			院・史学専攻
18			院・教育学専攻
19			院・心理学専攻
		院・表現文化専攻	

20	院・児童学専攻
21	院・食物栄養学専攻
22	院・生活造形学専攻
23	院・生活福祉学専攻
24	院・生活環境学専攻
25	院・公共圏創成専攻
26	院・法学専攻

総括・その他の対応方針

- ピア・サポートの全学部導入、FD への学生参画等、学生との協働を全学的に推進する。
- 成績評価の在り方について、平準化、GPA 実質化、卒業論文の取り扱い、再試験制度等、関連規程の改正も含めた見直しを進める。
- 大学院に関する体制・制度の不十分な事項については、大学院組織全体の改革と併せて強化を図る。
- 教務システム更新にあたり、学生や教職員に極力混乱の生じぬよう、また統合 DB や IR 等の他システムとのデータ連携についても担保されるよう、担当部署間の十分な調整を要請する。
- ゲストスピーカー制度について、枠の撤廃、一般枠と特別枠の区分、交通費の是非等について検討する。
- オンライン・オンデマンド型授業の在り方について、全学的な方針を策定する。